

# お花見山行 谷川連峰 松手山～平標山～仙ノ倉山(会山行)

(報告) W 田

◎日程：2018年6月24日(日)

◎メンバー：F野(CL)、A澤(SL)、S藤み、N山、H部、W田

久しぶりに参加が叶い、かなりドキドキしながら待ち合わせの八王子駅北口の階段を下りた。信号の向こうにS藤さん。N山さんは初めてお会いするがあのマッチョ体型、そうに違いない。ザックを揺らして駆け寄った。じきにF野さんがみえて、無事車中の人となった。

後閑駅でH部さんの車と合流。電車で来るA澤さんを待つ。全員揃ったところで、今夜の懇親会、明日の朝食など仕入れにスーパーへ。食担はS藤さん、N山さん。お二人のコンビは息が合い、素早くメニューの材料を調達。さて何が出て来るのか、お二人の会話をチラチラ聞きながら想像するだけでお腹が空いてきた。

今日の山、三国山登山口へ近づく前からフロントガラスにポツポツ雨粒が、、、。相談の結果、今日の山行は中止。そのままA澤さんの別荘へ向かう。私は初めてお邪魔する。話には何度も聞いていた。山歩きもしたかったけれど、別荘でゆったりと過ごすのはなお素敵。明日の晴れはほぼ確定だし、「今日は親交を深め、かつ英気を養うってのは大アリです。」とH部さんが力説していました。

林の中、大きな白樺に囲まれて立つ別荘へ到着した。外観はもちろん、中も凝った造り。素敵です。ちょうど昼時、テーブルを二つ並べた上にはS藤さん手作りの切り干し大根の煮物、麴漬けのお新香、N山さんの大根と沢で釣ってこられた魚の煮物(圧力鍋で炊いてあるから骨まで柔らかい)が並んだ。S藤さん特製の鶏肉の炒め物も、超美味い！H部さんがパック入りの楕円形の果物を勧めてくれる。パッションフルーツ？パイナップル？摘果マンゴーでした！香りも味も最高。オカワカメなる野菜もご馳走になったが、これも食感が良く美味しい。飲んで、たべて、話して、あっという間に時間が過ぎて行く。楽しい。

『4時起床』のはずが、随分前から台所から何やら音が聞こえてくる。知らん顔してぬくぬく。時間に下りていくと、すでに朝ごはんの支度が出来ていた。さつま揚げも入ったN山さん特製のポリューミーな力(ちから)うどん。タべあんなに満腹で寝たはずなのに、みんなのお腹にきちんと収まり鍋は空っぽになった。

快適だった別荘をバックに記念撮影し、出発。十数分で登山口に到着。花の時期ゆえ、駐車場には既に沢山の車が止められている。サブザックに荷物を詰め、準備万端。今日のコースを案内看板で確認していたら、F野さんから「ストレッチやってね」と声がかかる。はい！次にトップを務めるA澤さんへ、「ゆっくり行ってください」。「ロートルペースで行きます」。全く嘘ばっか。最初から早過ぎて、ハアハアしながらやっとなつていった。それでも森林限界はすぐと聞いていたので、気分的には楽だ。昨夜の雨が洗った綺麗な空気は冷たくて気持ちいい。一本立てると寒いくらいだ。

登山口でH部さんが、「あの尾根へ上がるんだよ」と指差確認した鉄塔へは思ったより早く着いた。標高差400m強の登りはキツかったが、樹林帯、そして爽やかな風のお陰で快適な登り。登山道脇の花も慰めてくれる。さあ、松手山まで頑張れば、あとは稜線散歩、お花を愛でながらの山歩きとなるはず。昨夜の雨は何処へやら？空がどんどん明るくなってきた。

N山さんはずっと花を撮影しながら登る。「記録は任せてください。後で送ります」。メモを取らないからこの報告を書くのを回避したいと言ったら、この言葉。前から後ろから私たちを撮ってくれた。

松手山からのプロムナードはルンルン気分。次から次へと登場する花々の名前を、S藤さんに教わりながら歩いて行く。吹く風は冷たく、照らされているのに暑くないのが嬉しい。

A澤さんが、「あれが浅間山」と指差す方には、確かに山頂から煙がモクモク立ち上る大きな山。しばらく登ると白馬三山も頭を出した。平標山は展望の山、花の山。山頂には大勢の人が休んでいる。目の前の尖った岩峰に目がいく。あれは？『エビス大黒の頭』。谷川岳から平標山まで2度も縦走したA澤さんが懐かしそうに眺めている。いつかゆっくり歩いてみたいと思わせる長くアップダウンある縦走路だ。

仙ノ倉山目指して一旦下る。両側はお花畑。ハクサンコザクラ、ハクサンチドリ、ハクサンイチゲ、チングルマなどなど。おっと危ない。花の名を確認するのに忙しく、足元をおろそかにしていつまづきそうになる。

遠く見えた仙ノ倉山は、思ったほどではなく到着。A澤さん、F野さんに山座同定してもらい絶景を楽しむ。しかしこの後、N山さんから驚きのアプリを紹介された。それは「AR山ナビ」というもので、携帯で山を見ると、その頂上にはなんと山名が！居並ぶ山の全てが『私は〇〇山です』と自己紹介しているよ。凄すぎる。今回のように山名に詳しいお二人がいない山行にはかなり使えるアプリだ。それにしても、さすがN山さん、である。



ハクサンイチゲ



ハクサンコザクラ



ハクサンチドリ



仙ノ倉山頂

平標山に戻り、平標山の家に下る。途中、ワタスゲ揺れる湿原の脇で、「こちら辺にあったはずなんだけどなあ」とA澤さん。今年は残雪が少なく湿原も瀕死の状況。皆でよくよく探すとあった！赤い繊毛が生えた、小さく可愛いけれど食虫植物のモウセンゴケ。群生してる。私は図鑑でしか知らなかったから初対面。何もしなさそうな顔してるけど、植物も色々努力してます。『頑張って虫を取るんだよ』、いや、『虫さんも捕まるんじゃないよ』。どちらも生き抜くのは大変だ。



モウセンゴケ

下りは早い。あっという間に山の家到着。冷たい水を思うさま飲んで、ペットボトルにも詰めた。ただこのあたりからだんだん気温が上がってきた。早立ちしたおかげで、照りつけられたら逃げ場のない稜線を、涼しい時間に通過することができた。感謝。

駐車場に帰り着くと、H部さんが「おかえりなさい」。H部さんの今回の山(山場?)は別荘での懇親会。もちろん主役でした。

いつもMLで会員の皆様の活躍を拝見していますが、山行にはなかなか参加できずにいます。今回、かなり高い(自分が感じているだけ)敷居をエイヤッと越えるぞ、と申し込みました。構えていたけれど、敷居なんてあるはずもなく、皆さんとてもフレンドリー。『山が好き』という共通項、そしてシリウスの会風がそこにあるからなのですね。また是非参加させてください。ありがとうございました。

#### 《コースタイム》

松手山登山口(5:30)～送電線鉄塔(6:40)～松手山(7:30)～平標山(9:05)  
～仙ノ倉山(10:05)～平標山(11:20)～山の家(12:10)～平元新道登山口(13:00)  
～松手山登山口駐車場(14:00)